

平成19年2月8日  
東北電力株式会社

## 東通原子力発電所1号機 復水補給水系復水移送ポンプ室等の排水受口からの溢水について

東通原子力発電所1号機は、平成19年1月7日より第1回定期検査中のところ、平成19年2月7日14時37分頃、原子炉建屋の機器から発生する排水を集める排水受タンクへの流入量増加を示す警報が発生し、14時45分頃、原子炉建屋地下3階復水補給水系復水移送ポンプ<sup>1</sup>室および燃料プール補給水ポンプ<sup>2</sup>室の排水受口から水が溢れているのを確認しました。これらの部屋は堰<sup>せき</sup>で仕切られているため、溢れた水が他の部屋に広がるおそれのない構造となっています。また、溢れた水の量は約43リットルで、放射エネルギーは約 $2.1 \times 10^6 \text{ Bq}^3$ でした。

事象発生時、残留熱除去系<sup>4</sup>と燃料プール冷却浄化系<sup>5</sup>の連絡配管の洗浄に伴う排水作業と、制御棒駆動機構<sup>6</sup>分解点検に伴う排水作業を同時に実施していました。

溢水の原因は、現在調査中です。

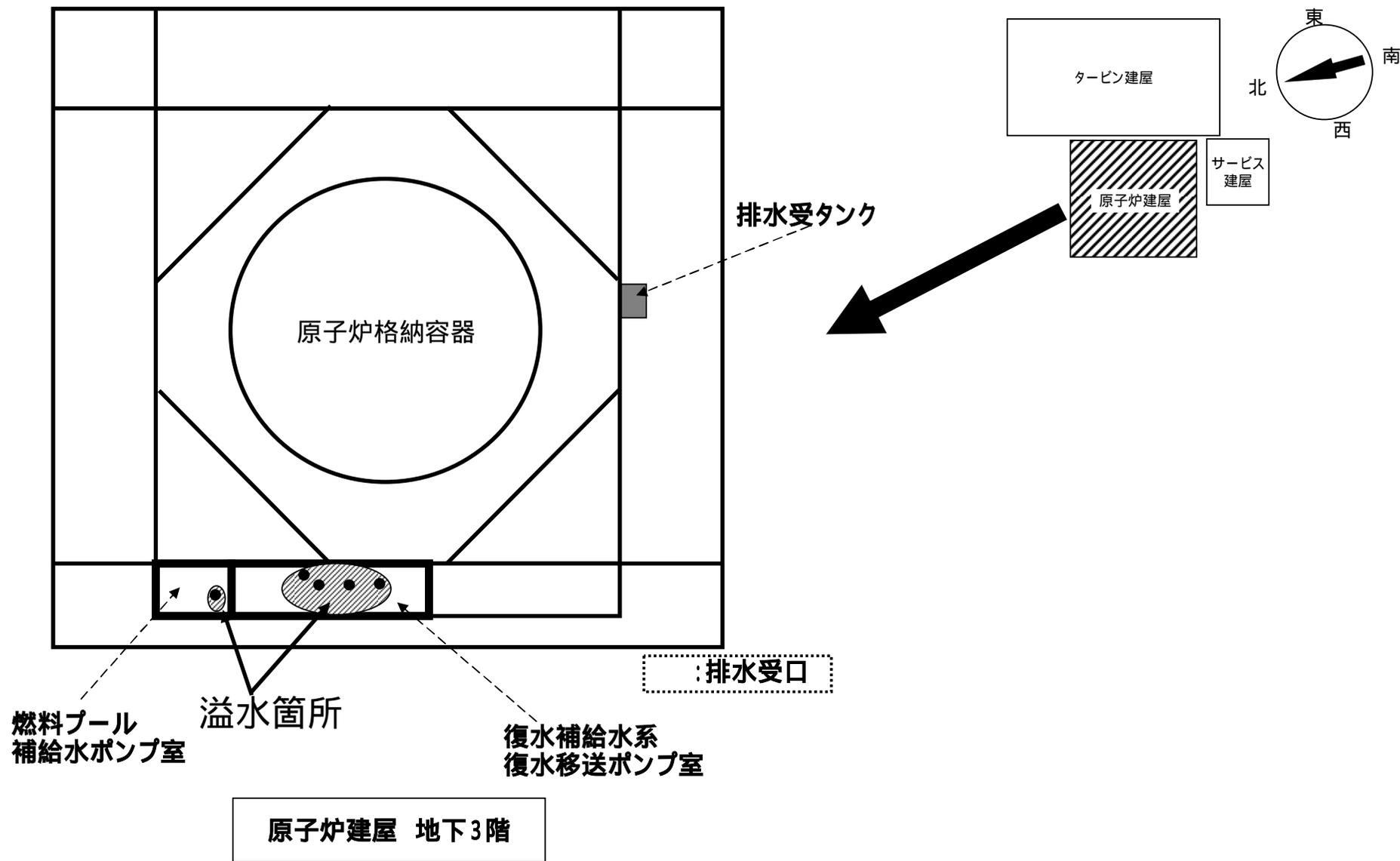
排気筒モニタ、排水モニタ、モニタリングポストに異常な変化はなく、本事象による発電所周辺への放射能の影響はありません。

なお、本事象は、「東通原子力発電所におけるトラブル等対応要領」に基づくB情報に該当する事象であり、法律に基づく報告事象ではありません。

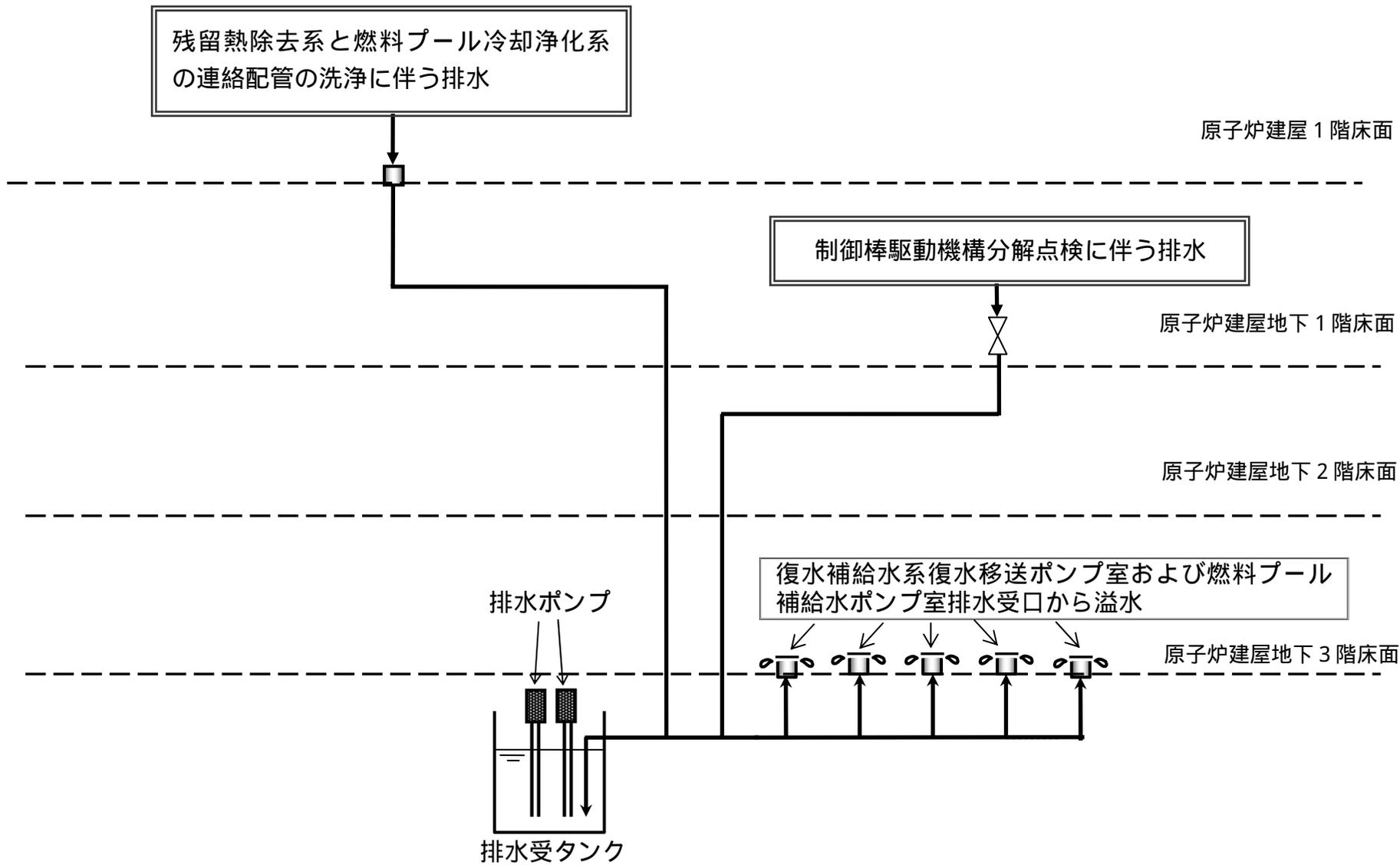
以 上

- 1 「復水補給水系復水移送ポンプ」とは、各建屋に設置されている機器等への補給水の供給および点検時における機器等への洗浄水の供給を目的としたポンプです。
- 2 「燃料プール補給水ポンプ」とは、使用済燃料プールへの補給水の供給を目的としたポンプです。
- 3 「Bq(ベクレル)」とは、放射能の強さを示す単位で、1ベクレルとは、1秒間に1個の原子核が崩壊し、放射線を出すことを表すものです。

- 4 「残留熱除去系」とは、原子炉が停止したあとに、炉心より発生する崩壊熱の除去等を目的とした系統です。
- 5 「燃料プール冷却浄化系」とは、燃料プールの水を冷却しながら不純物を取り除き水質を保つことを目的とした系統です。
- 6 「制御棒駆動機構」とは、制御棒を炉心に出し入れするための装置です。



発生場所(位置図)



排水作業状況概略図